

「住んでよし・訪れてよし」  
の佐野市



市民記者の田島さん、飯田さんが、岡部市長に今後の市政運営について聞きました。

まちづくり・新庁舎建設

(田島) 旧佐野市の街並みの保存、土蔵をはじめとした文化遺産の保存とその有効活用など、佐野市という個性を大切にしたい。まちづくりをお願いします。

(市長) 例幣使街道や江戸街道などの街道沿いには、現在でも歴史風情のある多くの建物が残っていますね。こうした街並みの雰囲気は損なわないよう保存することで、観光資源として活用することも考えられます。

佐野市にとりまして大切な文化財でありますので、できるだけ保存に協力していきたいと考えています。

(田島) わたしは新庁舎ができるのを楽しみにしています。まちづくりをしていくうえで、佐野市にお住まいのロック・ス

ター、ダイヤモンドユカイさんにちなみ、ロックの街として、若い方を中心にイベントを行い、盛り上がってほしいです。

(市長) 中心市街地活性化を図るために、市ではいろいろな取り組みをしています。

ブランド大使であるダイヤモンドユカイさんには、しばしばイベントに登場していただいていますし、毎月第3土曜日に行っています。「ぼるぼーとマルシェ」や、「佐野まちなか祭り」では若い方が中心となって活躍しています。今後も内容をより充実して、活性化を図っていきたいと思います。

(飯田) 新庁舎建設をはじめ、そういったまちなか活性化のイベントが中心部で行われています。それに対し、田沼・葛生地区の開発が進んでいないという意見もあります。

新庁舎は総合庁舎ということですが、田沼・葛生地区はどうなるのでしょうか。

(市長) 田沼・葛生地区の皆さんはご心配されていることかと思いますが、行政サービスが低



市民記者  
飯田瞬さん

下することがないよう、取り組んでいきますのでご安心ください。

田沼地区では道の駅どまんなかたぬまの盛況に加え、佐野田沼インター産業団地の造成に取り組んでいるところです。

葛生地区では旧町の中心部で地域の皆さんのご尽力で、各種イベントが開かれていて盛り上がりを見せています。

特にご心配いただいている葛生庁舎の跡地につきましましては、地域コミュニティを活性化できるように拠点施設が整備できるように検討を進めていきます。

各所で必要なものを整備しつつ、特色ある取り組みをして、活性化していくことが大切かと思えます。

経済対策について

(飯田) 市では佐野インランドポートの研究や、佐野田沼イン

ター産業団地の造成を進めていきますが、誘致は見込める状況ですか？

(市長) 本市は交通の利便性が高い位置にありますし、地震災害や自然災害に対して高い安全性があります。

現在は不況ではありませんが、今後、経済が上向いてから準備してもそれは遅きに失します。今後さまざまな場面で本市の良さをアピールし、企業誘致に努めていきたいと思えます。

(飯田) ここ数年の経済不況で、市内の中小企業や個人事業主さんも厳しい経営を迫られています。市では具体的な支援策はあるのでしょうか？

(市長) 本市では、市・佐野商工会議所・佐野市あそ商工会、市内金融機関などと協力し、市内の中小企業者などに対して、金融支援を行っています。こ



市民記者  
田島廣子さん

の不況に伴い、融資限度額の引き上げなどをして、利用実績を増やしています。

今後も皆さんのご意見をうかがいながら、引き続き制度融資の充実に努めていきます。

### 子育て環境について

(田島) 働くお母さんたちへの支援が不足していると思えます。安心して子育てをしながら働ける環境の整備をお願いします。

(市長) 11月1日現在、保育所は、公立が15カ所、民間が6カ所あり、合計で1762人の児童が在籍しております。

また、こどもクラブは、公立が18小学校区に20カ所、市が業務委託契約をしている民間のこどもクラブが5カ所あり、合計で1020人程の児童が在籍しています。

子どもたちは佐野市の未来です。保育所・こどもクラブそれぞれ市としての整備も進めていきますが、行政にできることも限りがありますので、民間の方と話し合いを進めながら子育てしやすい環境整備に努めていき

ます。

### 今後の佐野市

(飯田) 不況や子どもを育てる環境への不安など、私のような若い世代には不安が募っています。市長から私たちへアドバイスと、今後の市政の方向性を教えてください。

(市長) 今の経済情勢は、予断を許さない状況が続いており、特に将来を担う若い世代の皆さんは、不安を抱えている方も多くいらっしゃると思えます。

日本はこれまで、困難の時代を乗り越えてきました。そうした困難を乗り越えられたのは、日本人がそれぞれ協力してきたからだと思えます。皆で協力すれば乗り越えられないものはないと考えています。

私から若い皆さんへ贈る言葉としましては、周りの皆さんと「対話・協調・融和」をしつつ、新たな視点と柔軟な発想でチャレンジして欲しいということです。

佐野市としましては、市民の皆さんとの「対話・協調・融和」をとおり、行政を進め、未来を

切り拓いていきます。

そして、市民の皆さんが広く活躍できるよう環境を整備・拡充していかなくてはなりません。

そのため、私は観光立市を宣言し、市内外のいたるところで、本市の自然環境の良さ、交通環境の良さ、災害に対する安全性の高さ、なおかつ歴史があり、都市的環境も備えた、魅力ある市であることをPRしてきます。

今後も佐野市の魅力を発信し、「住んでよし・訪れてよし」の佐野市を、市民の皆さんと一緒に作り上げていきたいと思えます。どうぞよろしく願います。

### (田島・飯田)

本日はいろいろなお話をありがとうございました。

これからもよろしくお願います。

